

発刊にあたって

わが国経済は、緩やかな景気拡大を続けている一方で、経済のグローバル化や少子高齢化が急速に進んでおり、さらに地方財政はかつてない危機に直面しているなど、企業とそれを取り巻く地域環境は大きな変革期を迎えております。地域が自立的な発展を続けていくためには、産・学・官・民による連携により、地域の知的資源、物的資源を十分に生かしながら、それらの活用方策を考えていく必要があります。

そのような観点から、岡山県内でも近年、大学の自然科学系学部を中心に知的財産の供与や研究委託等の形で、大学と産業界との連携が進んでまいりました。今後は、企業や地域の経営ノウハウや政策提言の面にも連携のフィールドを広げながら、地域の持続的発展に寄与していくことが重要と考えております。

このため国立大学法人岡山大学経済学部と財団法人岡山経済研究所の共同事業により、地域の活性化に資する共同研究を実施することと致しました。平成 18 年度は「産地力の持続メカニズムの探求 ～ジーンズ製販ネットワークのフィールド調査～」および「地方都市の自立方策に関する調査研究」と題した2つをテーマに掲げ、共同研究に取り組んでまいりました。

本報告書は「産地力の持続メカニズムの探求」の調査研究成果を取りまとめたものです。ジーンズ産地力の持続メカニズムを明らかにしていくことを研究目的に、岡山大学大学院社会文化科学研究科 戸前壽夫准教授、同 藤井大児准教授、並びに岡山経済研究所研究員が＜実践コミュニティ＞という概念を視座として、フィールド調査結果を踏まえながら執筆致しました。

なお末筆ではございますが、本調査研究のフィールド調査の実施に際しまして、ご多忙中にも拘わりませずご協力を頂きました関係者の方々に、厚く御礼申し上げる次第です。

平成 19 年 7 月

国立大学法人 岡山大学経済学部
学部長 榎 本 悟
財団法人 岡山経済研究所
理事長 永 島 旭

目 次

I. 序論	1
II. 産業集積に関する先行研究	5
1. はじめに	5
2. 産業集積（クラスター）の定義	5
(1) 企業城下町型集積	8
(2) 産地型集積	9
3. ネットワークから見た産業集積	10
(1) ソーシャル・キャピタルという考え方	10
(2) ネットワークの再検討	11
4. <実践コミュニティ>の導入	15
5. 小括	18
III. 予備的考察 ジーンズ産地の歴史	20
1. はじめに	20
2. ジーンズ産業の起源	21
3. 普段着からファッションへ	23
(1) デニム・ジーンズの国産化	23
(2) 洗い加工工程の登場	24
(3) 縫製の海外移転とユニクロの台頭	27
(4) 健闘する洗い加工	29
(5) 不透明な今後	31
4. 小括	33
IV. ジーンズ産地力を持続させるメカニズム	34
1. はじめに	34
2. ジーンズ・メーカーの3業態	35
(1) 規模による産地依存度	37
(2) 産業集積の機能・逆機能	39
3. ジーンズ起業の事例研究	41

4. ジーンズ産地力を持続させるメカニズム	45
(1) 比較優位の源泉	45
(2) 模倣を通じた学習	47
(3) 協調的学習のドライブ	49
5. 小括　－産地力を持続するためには－	52
V. 結論	53

